

第4学年 算数科 学習指導案

指導者 旭岡 義如

1. 日時
2. 学級 第4学年1組 35名
3. 単元名 「計算のやくそくを調べよう」
4. 単元の目標

計算の順序に関わるきまりについて理解するとともに、四則に関して成り立つ性質について理解を深め、必要に応じて活用できるようにする。

5. 本時の目標

分配法則、交換法則、結合法則など学習した「計算のやくそく」について、「+、-」「×、÷」「()」の位置をほんの少し変えることで元の計算式の答えが全く変わってしまうことを体験的に知ることができる。

(1) 展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◎評価規準
導入	○活動前時までの復習をする ・分配法則や交換法則、結合法則について	・
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「+、-」「×、÷」「()」をいれかえると、答えがかわることをたしかめよう </div> ○実際にプログラミングを使って計算してみよう ・既習の【 $8 - (9 - 3 \times 2) =$ 】について () の位置を入れ替えることで答えが全く異なってしまうことを知る。 ・自分で計算式を立て。自由に「+、-」「×、÷」「()」をいれかえて実践する ・友だちの作成した計算式を共有して、改めて自由に「+、-」「×、÷」「()」をいれかえて実践する	・計算以前に、「鉛筆で書く」ことが苦手であったり、面倒くさいと感じたりする児童にとっては、簡単なキーボード操作で元の計算式を変更することができ、その答えが即時に表示されるのは魅力的だと想定される。
終末	○本時のまとめをする 本時の学習を通して、どのように感じたかを発表する。	・本時の学習を振り返り、まとめをする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 計算のきまりを守って計算することが大事である。答えは少しの変化ですぐに変わる。 </div>	